

公益社団法人日本技術士会埼玉県支部 CPD 委員会活動報告

日本技術士会埼玉県支部 CPD 委員会

1. 活動テーマ:埼玉県支部 CPD 講演会

2. 開催日時 :2022 年 4 月 7 日 (金) 18:30~20:15

3. 開催場所 :浦和コミュニティセンター 第 13 集会室
〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町 11 番 1 号

4. 参加者数 :20 名 (会員 19 名、非会員 1 名)

5. 実施記録 (氏名敬称略)

5.1. 開催挨拶 公益社団法人日本技術士会埼玉県支部 支部長 若林 直樹

5.2. 講師紹介 CPD 委員 山岸 知彦

5.3. 講演 埼玉大学名誉教授 坂本 和彦氏

5.4. 演題

「我が国における大気環境の改善について—残された課題:微小粒子状物質と光化学オゾン—」

5.5. 概要

・大気汚染の基本知識、日本、イギリス、中国を例に経済発展と公害の発生についての実情が紹介され、これに対し、日本国内における環境行政と大気汚染対策の進展について示された。

・粒子状物質の挙動や発生・変化に関する基本知識を基にしたの対策と効果が紹介された。

・光化学スモッグと揮発性有機化合物の基本知識を基にしたの対策と結果・効果が紹介された。

・PM2.5 の基本知識と環境基準の設定背景が紹介され、今後の課題として PM2.5・オゾン対策と越境汚染への対応の重要性が示された。



5.6. 主な質疑

大気汚染の要因となる物質の大気放出後の処理・措置方法や地球温暖化防止の観点からの植物と VOC の関連性についての質問があり、基本的に大気放出後の回収は困難であり、大気放出量を減らすことが重要であるとの認識が示された。また、NOx や VOC があるところではオゾンが発生するため、異なる環境条件下での VOC の観測を実施中であることが示された。

文責 公益社団法人日本技術士会埼玉県支部 CPD 委員会